

PASSAGES

平成23年度 北海学園大学 卒業証書・学位記授与式

ケイエイガクブのグーなヤツ

2011年度卒業生に聞く 大学生活の魅力

■1部経営学科

井上雄太さん・福山八尋さん

■1部経営情報学科

大西保奈美さん・菊谷佳由さん

■2部経営学科

岸田静香さん・田中美貴さん

豊平シンクタンク

教員の研究紹介

佐藤大輔／増地あゆみ／五十嵐祐

企業研修

体験談／企業研修スケジュール／研修先企業・団体

就活Labo

就職活動に向けて徹底準備!

～就職活動スケジュール～

ゼミなび

【文献輪講・講読図書紹介(前編)】

採用している本の紹介

大石ゼミ／春日ゼミ／佐藤(芳)ゼミ／石嶋ゼミ
福永ゼミ／小島ゼミ／佐藤(淳)ゼミ／田村ゼミ

北海学園大学では、卒業式を挙げるにあたり、各学部学科の卒業生の中から表彰学生と卒業証書授与学生をそれぞれ1名選出します。

その選出方法は学部学科で異なりますが、経営学部では、成績優秀者をもって表彰学生と証書授与学生としています



1部経営学科



表彰学生

井上 雄太 さん

■ 出身高校 札幌清田
■ 所属ゼミ 今村ゼミ

— 大学生生活の思い出

私はサークルには所属しておらず、集団で何かに取り組む機会が、ゼミ以外では非常に少なかったため、ゼミでの活動が最も印象に残りました。ゼミでの活動の中でも、ソフトボール大会が大好きでした。昔から球技大会や合唱コンクールなどのイベントが好きだったので、ソフトボール大会も楽しく参加できました。ソフトボールの練習を通して、ゼミのメンバーとの距離を縮めることができたこともあり、今でも強く印象に残っています。

— 面白かった講義

他にも経営学部の講義で面白かった講義はありましたが、私が特に面白く感じた講義は「マーケティング」です。この講義では、実際の企業や製品などのマーケティング戦略を例として取り上げるので、購入したことのある製品や見たことのあるテレビCMが例として出てくることもあり、非常に興味深く、理解しやすい内容でした。

テレビCMやお店で製品が販売されているのを見ても、どのようなマーケティング戦略を採っているのかが少しわかるようになり、また今までは違った視点でCMなどを見ることができるようになりました。世界が広がったように感じました。ただ、積極的に学ぼうとする意欲がなければどんな講義も面白くは感じられないと思います。

— 経営学部に入ってよかったと思うこと

経営学部なので、当然、経営学や経営学の成り立ち、企業論などの経営学部らしいことを学ぶことができますが、

意外だったのが心理学です。心理学系の講義は、経営学部の他の講義とは少し毛色が違うので、すごく新鮮だったし、興味を惹かれました。経営学部に入って心理学を学べたのはよかったと思います。

さらに、経営学部では、実践的な知識や能力を身につけることもできます。簿記などの会計に関する知識は、社会に出てから必ず求められる重要なものであり、それを身につけられる講義が経営学部には充実しています。また、パソコンに関する能力も必要不可欠なものです。基本的なワードやエクセルだけでなく、プログラミングなどのレベルの高い能力まで身につけることができ、非常に恵まれた学部であると感じました。

— 卒業に際して思うこと

大学で過ごした4年間は、入学当初に思い描いていたものとは、まるで違っていました。おそらく、入学当初の自分に、大学で過ごした4年間の思い出を伝え、ひどく落胆すると思います。しかし、今の私はこの4年間に満足しています。なぜなら、多くの尊敬できる人達に出会うことができたからです。それは、友人であったり、先輩であったり、先生だったり、北海学園大学の経営学部に入らなければ出会うことのできなかつた人達でした。彼らには、困った時に何度も助けてもらい、本当に多くのことを学ばせてもらいました。大学で学んだこと、大学で出会った人達、大学での経験、それら全てが私の人生に大きな影響を与え、支えになってくれると信じています。



卒業証書受領代表者

福山 八尋 さん

■ 出身高校 北海
■ 所属ゼミ 大平ゼミ

1部経営情報学科



表彰学生

大西 保奈美 さん

■ 出身高校 札幌東商業
■ 所属ゼミ 赤石ゼミ

— 大学生生活の思い出

部活動が私の一番の思い出です。私は女子ラクロス部に所属していましたが、「大学生活＝ラクロス」といっても過言ではないくらいで、学業とは別に濃い学生生活を送ることができて感じています。眠いながらも早起きして朝練したり、紫外線を浴びて夏には真っ黒になったりなど、同じ目標に向かってチームで力を合わせて頑張ったことは、今ではよい思い出です。結果的にはチームの目標は達成することができませんでしたが、勝利をつかむために部員の気持ちが一になった瞬間は最高で、チームスポーツって素晴らしいなと改めて感じました。また、同期や先輩、後輩、他大学の選手など、個人的で愉快的仲間たちと囲まれてラクロスができて本当に楽しかったです。部活動を通してきた様々な経験は私の今後の人生でも活かしていけると感じています。

— 面白かった講義

心理学系の講義は特に興味深かったです。「普段の何気ない行動にはどのような心理が働いて起きているのか」、「人はどのように物事を認知しているのか」などを、講義を聴くことで理解することができたり、新たな疑問が生まれたり面白かったです。私は認定心理士の資格取得を目指していたので、心理学の講義は幅広く受講しました。様々な心理学を学ぶ中で、人間とは不思議な生き物だと改めて感じました。

他にはマーケティングの講義も興味深かったです。消費者ではなく販売する側の視点を知ることができ、自分も企業の戦略にままとはまって商品を購入しているとわかって、面白かったです。

— 経営学部に入ってよかったと思うこと

例えば、日常生活の中でこの商品の原価はいくらなのかなどといった視点で物事を考え、一緒にいる友人と利益はこのくらいだろうといった会話をするのが面白くなりました。日常でそのような会話ができるようになったのは経営学部で学ぶことができたからだと思います。

また、パソコンやプレゼンテーションなど企業で働く上で必要な基本的なスキルも学ぶことができたので良かったです。経営学部は組織マネジメント、マーケティング、会計などビジネスを行っていく上で必要な基礎知識を学ぶことができ、社会に出て活かせるスキルを身につけることが可能な学部だと思います。ですから私は経営学部で学ぶことができて良かったと感じています。

— 卒業に際して思うこと

思い返すと大学生生活は本当に貴重な時間だったと感じます。大学で学ぶことによって新しい知識を得て、自分の考え方や視野を広げることができ、自分で考えて行動することの大切さを実感することができました。また、ゼミや企業研修、部活動、アルバイトなどで多くの人と出会うことができ、その出会いからも自分を成長させることができたのではないかと思います。

大学は私にとって社会に出るための必要な準備時間だったと感じます。そして大学生生活でできた沢山の経験はとても価値のあるもので私の財産になったと思っています。その得ることができた財産を自信に変え、社会人として自ら学ぶ姿勢を大切にしながらこれからも日々成長していきたいと思っています。



卒業証書受領代表者

菊谷 佳由 さん

■ 出身高校 クラーク記念国際
■ 所属ゼミ 森永ゼミ

授与学生の位置づけ

(課外活動で著しい活躍を見せた学生については、別途、学生委員会において表彰学生とするか否かが検討されます)。

——ここでは、2011年度の表彰学生に、大学生活の思い出や面白かった講義などについて聞いてみました。



2部経営学科



表彰学生

岸田 静香 さん

■出身高校 札幌東商業
■所属ゼミ 五十嵐ゼミ

—— 大学生活の思い出

大学生活の思い出は、なんといってもサークル活動(文学会所属)です。サークルの主な活動である小説の執筆や批評だけではなく、花見や新入生歓迎会、十月祭などの行事などを通して、学部や学年を問わずさまざまな人と交流ができたのが印象的です。小説の内容や創作について真剣に語り合ったり、授業終了後などに時間が合えば先輩後輩問わず飲みに行ったりしました。「小説が好き」という共通点を持った人たちと、さまざまな場面で話を積極的にコミュニケーションすることで、大切な友人を得ることができたのが、なにより思い出です。

—— 好成绩の秘訣

好成绩の秘訣は、定期試験に向けて講義の内容を暗記するだけではなく、講義の内容や事実関係、関連・関係性などを理解することだと思います。難しく思える講義やなかなか興味が持てない講義でも、内容を理解しようとじっくり取り組み、講義で聞いたときにはわからなかったけれど、これはこういう意味だったのか」という発見があります。また、講義の内容の一端でも理解できれば、芋づる式にその講義の内容に対して興味が湧いてくることもあります。そのため、最初から「この講義は苦手、あるいは興味がないから適当でいいや」と思うのではなく、少しでも理解できるよう積極的に取り組むことが大切なのではないかと思っています。

—— 経営学部に入ってよかったと思うこと

心理学について学べ、それらを通じて

経営学やマーケティングなどについても知ることができたことです。私はもともと心理学に興味があって経営学部を選択したのですが、実際には心理学を単独で学ぶのではなく、人間の心理的な動きやモノの見方への偏りなどが企業経営に応用できるというように、経営学と関連付けて学ぶことができました。そうすることで、今までは漠然とみていた企業の動きやマーケティング、身近なところでいえば各種商品の宣伝や商品の配置などにどのような意図があることがわかるようになり、以前とは違った視点で自分や他の人の消費行動を見ることができるようになりました。

—— 卒業に際して思うこと

振り返ってみればあっという間に感じるけれど、たくさんの思い出が詰まっている4年間でした。良いことも悪いことも、楽しかったこともつまらなかったことも、たくさんありました。一人で本を読むことが好きだった私でしたが、サークルに入ったことで「小説が好き」という共通点を通じて多くの人と出会い、別れ、そしてかけがえのない友人を得ることができました。

4月からは社会人となります。会社で働くということ、人との交流に利害関係が絡むようになり、楽しいことばかりではないでしょう。仕事に対する責任や義務を負うようになり、大学時代よりも辛いことが増えるでしょう。それでも、私は大学で学んだことや得た経験を生かし、友人たちとの思い出を胸に、友人たちと再会した時に胸を張っていられる私になれるように、頑張っていきたいと思っています。



卒業証書受領代表者

田中 美貴 さん

■出身高校 札幌東
■所属ゼミ 五十嵐/田村ゼミ

1部経営学科

■表彰学生

卒業年度	氏名	出身高校	所属ゼミ
2006年度	古川 明生	大検	内田ゼミ
2007年度	富田 未邦子	釧路湖陵	菅原(浩)ゼミ
2008年度	本野 隆一	札幌篠路	伊藤ゼミ
2009年度	横山 智佳	帯広柏葉	赤石ゼミ
2010年度	山崎 直子	札幌清田	澤野ゼミ
2011年度	井上 雄太	札幌清田	今村ゼミ

■卒業証書受領代表者

2006年度	西川 智美恵	倶知安	高木ゼミ
2007年度	竹中 徹	苫小牧東	田中(史)ゼミ
2008年度	小川 未夢	札幌平岸	福永ゼミ
2009年度	野村 枝里子	根室	増地ゼミ
2010年度	山口 真依	札幌旭丘	庄司ゼミ
2011年度	福山 八尋	北海	大平ゼミ

1部経営情報学科

■表彰学生

卒業年度	氏名	出身高校	所属ゼミ
2006年度	湯浅 紫織	苫小牧東	内田ゼミ
2007年度	多田 優基	札幌東商業	福野ゼミ
2008年度	常塚 玲花	札幌東商業	高木ゼミ
2009年度	松代 将吾	小樽湖陵	今村ゼミ
2010年度	佐々木 亜美	北海	田村ゼミ
2011年度	大西 保奈美	札幌東商業	赤石ゼミ

■卒業証書受領代表者

2006年度	待島 亘	札幌新川	世良ゼミ
2007年度	若原 則彦	函館商業	福永ゼミ
2008年度	奈良岡 恒	岩見沢緑陵	天笠ゼミ
2009年度	渋谷 紗智枝	大麻	増地ゼミ
2010年度	高橋 祐美	江別	庄司ゼミ
2011年度	菊谷 佳由	クラーク記念国際	森永ゼミ

2部経営学科

■表彰学生

卒業年度	氏名	出身高校	所属ゼミ
2006年度	加藤 丈晴	有朋	—
2007年度	堀井 誠	小樽湖陵	—
2008年度	菅原 美紀子	札幌平岸	山中ゼミ
2009年度	増輪 早紀	札幌国際情報	—
2010年度	武藤 直子	市立前橋女子	菅原(浩)/赤石ゼミ
2011年度	岸田 静香	札幌東商業	五十嵐ゼミ

■卒業証書受領代表者

2006年度	岡本 麗子	札幌藻岩	世良/田村ゼミ
2007年度	坂東 奈穂美	札幌旭丘	田中(史)ゼミ
2008年度	山根 正子	札幌静修	—
2009年度	上田 望美	苫小牧東	大平/澤野ゼミ
2010年度	加藤 卓也	札幌平岸	五十嵐ゼミ
2011年度	田中 美貴	札幌東	五十嵐/田村ゼミ

ゼミなび

【文献輪講・講読図書紹介(前編)】

大石ゼミ

大久保幸夫
『キャリアデザイン入門Ⅰ 基礎力編』
日本経済新聞出版社 2006年



■採用のねらい

担当教員：大石 雅也
主な担当科目：人的資源管理Ⅱ

最近、キャリアデザインの必要性があらこちらで叫ばれるようになってきました。今や会社での働き方は以前と大きく異なり、自分のキャリアは会社任せでなく自分で設計していかなければならない時代になった、いや、それ以前にキャリアデザインができていない学生は就職もおぼつかない、などといったものが主な理由として挙げられています。



そもそもキャリアとは？ そのデザインとは？ いつやるのか？ また、キャリアデザインを必要とするようになった理由の一つとされている会社での働き方の変化とは？ 以前の働き方とは？ 最近の働き方とは…？ 疑問は次々と出てくるでしょう。これらのことをじっくり考えながら、会社で働くことへの理解を深めてもらいたいです。

■学生によるレビュー

田浦 摩弥
出身高校：札幌啓成

キャリアデザインとは、職務経歴(キャリアの客観的側面)と仕事に対する自己イメージ(キャリアの主観的側面)を確立していくことです。実際のキャリアはこの職務経歴とイメージが相互に影響し合って形成されます。



本書によると、現在企業に求められている人材とは、昔と違い、自律的な人材であり、そのために個々人のキャリアデザインが必要になってきたとされます。社会人になってからのキャリアは、始めのころは筏下りのようなイメージで、問題を一つ一つ乗り越えては繰り返すことで力をつけていくのがよく、十分に力をつけた後は、今度は山登りのイメージをもち、目標は高く全エネルギーを注ぎ込めるようなものに挑戦するのがよいとされています。

春日ゼミ

今村龍之助
『ドラッカーとトヨタ式経営』
ダイヤモンド社 2008年



■採用のねらい

担当教員：春日 賢
主な担当科目：経営学説史Ⅰ,Ⅱ

本書の序章は「50年間読まれつづけている経営書がある、70年間変わらぬ経営を続けている会社がある」です。その経営書とはドラッカーの本であり、その会社とはトヨタ自動車です。ドラッカーは今「もしドラ」でブームの有名な経営学者ですが、それが日本を代表する企業トヨタの経営とどのようにかかわっているのでしょうか？ 昨年、ゼミではトヨタがなぜ強いのかを研究し、実際にトヨタの工場を見学しました。



大学生のみなさんが学んでいる経営学の理論と企業経営の現実が、実はどれほど密接に関係しているのか理解してもらうために、この本を採用しました。

■学生によるレビュー

岡本 佑斗
出身高校：札幌藻岩

春日ゼミで取り上げた研究の1冊は、『ドラッカーとトヨタ式経営』です。『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』でお馴染みのドラッカーが、50年以上も前に伝えたマネジメント理論を、世界のトヨタが今もなお続けているという内容です。



不景気が叫ばれる今の世の中、市場は水物と言われ、昨日通用したマネジメントが今日は通用しないとも言われています。そんな中で、なぜ50年以上も前の経営手法が現代のトヨタでも通用し、成功するのか。そこで見つけたのは、成功する企業には変わらぬ基本原則があるということでした。みなさんもドラッカーと出会い、「カイゼン」してみたいはかがででしょうか。

佐藤(芳)ゼミ

高嶋克義
『現代商業学 新版』
有斐閣 2012年



■採用のねらい

担当教員：佐藤 芳彰
主な担当科目：流通システムⅠ,Ⅱ

テキストの内容は、やや抽象的かつ理論的で、これまで流通や商業の分野で議論されてきた成果が盛り込まれています。事実そのものの記述は少ないですが、現代的、今日的な流通の問題がとりあげられています。本当は難しい内容ですが、さりげなく平易に書かれています。あたりまえのことのように書かれています。よく読むと、いろいろ疑問が出てくる内容でもあります。



効率性や合理性の視点から、人間行動あるいは組織行動の視点へと内容が発展しています。流通は、消費財ならば最終的には消費者への販売で完結しますが、企業間での取引の連鎖が中心になります。したがって、組織間関係の問題を勉強するための内容とも言えます。

■学生によるレビュー

高田 里沙
出身高校：札幌北陵

佐藤(芳)ゼミはマーケット系のゼミですが、その中でも特に流通に焦点を当てているゼミです。

ゼミ内では高嶋克義先生が執筆された『現代商業学』という本を使用しています。商業論・流通論・流通システム論などの商業の理論を基礎的なレベルから学ぼうとする大学生や、実際に商業・流通に関わっている人向けの内容になっています。ただ、基礎的なレベルとは言えども文章がかなり硬めで、具体的な事例が少ないので流通の理論を理解するのに苦労しました。しかしその分、基礎の基礎からしっかり学べる文献だと思えます。



石嶋ゼミ

藤芳明人
『解説:企業経営学』
学文社 2008年



■採用のねらい

担当教員：石嶋 芳臣
主な担当科目：企業論Ⅰ,Ⅱ

今年のゼミでは、『解説:企業経営学』を採用し、経営、管理、リーダーシップ、モチベーションに関する古典的理論と学説を学んでいます。



今日のように環境変化が激しく、今日役立つことは明日には陳腐化する不確実性の高い時代においては、普遍的視点を確立することが求められており、そのために基礎となる自己の確立が重要となっています。

本書のポイント整理から疑問点や批判を引き出すことによって、議論が形成され、ゼミ生各人の問題意識が涵養されることを期待しています。

■学生によるレビュー

関 貴広
出身高校：札幌手稲

石嶋ゼミでは、『解説:企業経営学』という教科書を使い、各自調べ学習や輪読を行い、企業論について日々学んでいます。



各自調べ学習は、ゼミ生16人各々で経営理論を説いた代表的人物の経営理論について、教科書の内容をレジュメにまとめ、発表するという形式で行っています。その時にでた質問や意見から様々な議論に発展し、楽しく自由に学習を行っています。



ゼミナール(演習)とは**少人数**で実施される科目で、教員の下で特定の分野を専門的に深く勉強してゆく科目です。**文献輪講・講読**とは、ゼミナールでの主な内容の一つで、**専門書などの文献・図書を学生と教員がじっくり読む**ことで、その分野を深く理解しようとするものです。Passage19号、20号の2号連続で各ゼミナールの文献輪講・講読で用いている図書を担当教員とゼミ生が紹介していきます。**ゼミではどんなことをするのか？ また、それぞれの分野を勉強する上での必読書は？** そのようなことをこの記事から読み解いていただくと幸いです。

福永ゼミ

中村忠之
『ネットビジネス進化論』
中央経済社 2011年



■採用のねらい

担当教員：福永 厚
主な担当科目：経営科学Ⅰ,Ⅱ

本演習はWebページ作成技術の習得がメインですが、演習Ⅱでは、各自で考えたインターネットビジネスを提案し、そのアイデアに基づいて実際に試作することを目標としています。その為に、現代を象徴するネット社会の現況、特にインターネット技術がビジネスにどのように活かされているのかを十分に理解する必要があります。



ネット社会の変化は激しくなかなか適当な教科書が見当たらない中で、本書はインターネットの基礎技術からビジネスへの応用まで網羅された適切な書であります。これを読んで、現代社会を理解し、ネットビジネスについての良いアイデアが浮かぶヒントになれば良いと思ひ選びました。

■学生によるレビュー

太田 えり菜
出身高校：旭川商業

eビジネスから始まりWeb2.0、クラウドそしてソーシャルメディアへと急速な進化を遂げているネットビジネスの本質を解説しています。同時に、情報処理の基礎からセキュリティ、法律、マーケティング、ロングテール現象、成功企業の例といったネットビジネスに関するあらゆる範囲の事柄もコンパクトにまとめられた一冊です。



電子書籍、スマートフォン、タブレットなどの近年参入してきた情報機器についてもまとめてあり最新の知識を幅広く知ることが出来ます。中でも電子商取引についてはメリット、デメリット等が分かりやすく簡潔にまとめており内容についても幅広く記載されていたのでとても勉強になりました。

小島ゼミ

ドラッカー、P. F. (上田惇生訳)
『現代の経営』
ダイヤモンド社 2006年



■採用のねらい

担当教員：小島 康次
主な担当科目：認知心理学Ⅰ,Ⅱ

この本の「まえがき」で、著者ドラッカー自身がマネジメントに関する良書が無いことに気づき、自分で書き上げることにした事情を述べています。直接の対象は、多忙でじっくり読書などできない企業の経営管理者で、そのために各章を短く、読み易いものにしたと言う。一方でトップマネジメントに必要なことは全て網羅するように心掛けたとも言う。



実務家にとっては好都合なドラッカーの著書に共通するこのバランスの良さも、実務経験のない学生にとって必ずしも取組易いものではありません。しかし、著者が「新しい時代の学生」を読者として期待したように、ゼミ生は徐々にではあるがドラッカー流マネジメントを感得しつつあるように思います。

■学生によるレビュー

芳賀 遥平
出身高校：札幌創成

小島ゼミでは、P・ドラッカーの『現代の経営』を読み、マネジメントを学ぶという観点から、今までの経済と経営というものの違いを明らかにし、これからの経営者に必要である「人の共感を得るような目標管理」のあり方についての、心理学と経営学のコラボレーションをテーマにしています。



具体的には、目標により人がどのように行動するのか、誰のどんな欲求を満たすのか、また、そのためにどんな工夫と変化が必要なのか、といった諸条件について、実際に起こった成功例、失敗例を交えながら、事業が適切に機能できる組織とは何かを学習しています。

佐藤(淳)ゼミ

麻柄啓一・進藤聡彦
『社会科学領域における学習者の不十分な認識とその修正』
東北大学出版会 2008年



■採用のねらい

担当教員：佐藤 淳
主な担当科目：学習心理学Ⅰ,Ⅱ

当ゼミは「人々の経済認識、社会認識を心理学的に読み解く」ことを授業のテーマとしています。このため、経済や歴史などの社会科学的事象に対する「不適切な認識」の保持様相とその修正方略が仔細に検討されている本書は、そのテーマに合致していると判断し採用しました。



内容は、数多くの調査・実験の結果と考察から構成されており、具体的でわかりやすく、かつデータの処理方法についても学べるため、3年次以降の自らの調査研究を実施する際にも良き参照点となっています。

■学生によるレビュー

山口 新
出身高校：北広島

本書は、社会科学領域の中でも経済と歴史の2つの分野における誤った認識や不十分な認識を取り上げ、その存在を調査によって明らかにするとともに、それらの修正を実験的に試みた内容となっています。すなわち、私たちの誤った認識や不十分な認識をどのように正しい認識に変えるかをテーマとしたものです。



経済分野では、企業目標、需要の法則、市場性、競争事態、価格規定因のそれぞれに対する認識が取り上げられて、また歴史分野では、経費の節約、政治と経済の関係、意見命題の受容、地域の活性化などに対する認識が取り上げられ、それぞれに検討が加えられています。

これらを理解するにも、誤った認識に気づくことにも、よく考えることが必要であり、この1冊で考えることの深さを実感できたように思います。

田村ゼミ

下条信輔
『サブリミナル・マインド-潜在的人間観のゆくえ』
中公新書 1996年



■採用のねらい

担当教員：田村 卓哉
主な担当科目：心的情報処理Ⅰ,Ⅱ

本書は、現在カリフォルニア工科大学他で活躍している著者が、東京大学在籍時代に行った心理学の入門講義をもとに書かれています。



内容的には、著者の専門である知覚をはじめ、社会的認知、感情、脳障害、運動制御、広告効果など、幅広いトピックが扱われていますが、そこに共通しているのは、「人は自分で思っているほど、自分の心の動きをわかってはいない」という、常識ではやや受け容れ難い見解です。自分の心は自分にしか分からないという素朴な実感に対して、なぜ心理学がそのように主張できるのでしょうか。

実証的な研究を通して、心と行動の仕組み、とりわけ意識の成り立ちに迫る愉しみをみなさんと共有したいと思います。

■学生によるレビュー

亀井 尚幸
出身高校：北見北斗

私がゼミ発表で担当したのは、「第6講 見えにくいに見えている」でした。



1年生の時に、別の講義で学んだ「カクテルパーティー効果」や「潜在知覚」、「サブリミナル・プライミング効果」など、私たちは意識的には気づかないのに何らかの意味で「見えていた」と考えざるを得ない諸現象について、豊富な実験例や分析が書かれています。

著者の専門領域に近いだけに、非常に刺激的な内容です。また、他の章でも、1年生の時に学んだ心理学のより詳しい分析や解説などが、興味深く展開されています。理解が難しい部分もありますが、心理学に基づく人間理解に興味がある人にはぜひ読んでほしい1冊です。



● 教員の研究紹介 [科研費採択分] ●

大学教員は、講義だけでなく、自分自身の研究を行っています。こうした研究活動によって、新しい理論・知見が発見されるだけでなく、これらの理論・知見を踏まえた講義が展開されることとなります。また、研究とは学問をするということでもあるので、研究活動それ自体が、学生の皆さんに対して学問に臨む姿勢を伝えることにもなります。

今号では、数多くの経営学部教員の研究の中でも、科研費採択研究となっている佐藤(大)先生、増地先生、五十嵐先生の研究を紹介します。

科研費とは？

科研費は、人文・社会科学から自然科学までの全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、ピア・レビュー(専門分野の近い複数の研究者による審査)による審査を経て、独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。(独立行政法人日本学術振興会webサイトより抜粋)

このような研究資金を得ることで、より充実した環境で研究をできるようになります。科研費(科学技術研究費)には様々ありますが、本学部の教員が受けた科研費の種類には、右の種類があります。

※独立行政法人日本学術振興会webサイトの表を加筆修正

基盤研究(A・B・C)	一人又は複数の研究者が共同して行う独創的・先駆的な研究 (期間3～5年間、応募総額によりA・B・Cに区分) (A)2,000万円以上5,000万円以下 (B)500万円以上2,000万円以下 (C)500万円以下 ※審査区分が「一般」と「海外学術調査」(A・Bのみ設定)に分かれます。 ※代表者と共同研究者がいます。
挑戦的萌芽研究	一人又は複数の研究者で組織する研究計画であって独創的な発想に基づく、挑戦的で高い目標設定を掲げた芽生え期の研究 (期間1～3年間、応募総額500万円以下)
若手研究(A・B)	若手研究者(研究開始年度の4月1日現在において39歳以下)が一人で行う研究 (期間2～4年間、応募総額によりA・Bに区分) (A)500万円以上3,000万円以下 (B)500万円以下

科研費採択率[全国]

科研費は全国の研究者が申請し、書類審査を通過しなければ採択されません。教員の科研費テーマについてはこの審査をクリアしているものになります。

※独立行政法人日本学術振興会webサイトより

年度	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
採択率(%)	23.7	24.8	24	23.5	24.3	22.7	24.9	24.8

経営学部教員の科研費採択一覧

2003年度からこれまでに採択された経営学部教員の研究テーマは下記になります。

*印は2012年現在退職あるいは転出した教員

応募年度	氏名	研究種別	研究課題等
2003年度	黒田重雄*	基盤研究(C)(2)	比較マーケティング研究における一展開一国際市場細分化を中心とする実証化一
	浅村亮彦	若手研究(B)	方向感覚の個人差による空間学習及び空間移動時の方略の異質性に関する研究
	石田修一*	若手研究(B)	産業集積化にはたす研究開発とビジネスモデルの有効性検証
	福野光輝*	若手研究(B)	公共事業における紛争解決過程の社会心理学分析
2005年度	増地あゆみ	若手研究(B)	リスク認知における情動反応とリスク対処行動の関係分析
	田中史人*	基盤研究(C)	産業クラスターの創出・育成による地域企業の経営革新と新規創業の促進に関する研究
	鈴木修司	若手研究(B)	評価尺度によるフレーミング効果に関する研究
	福野光輝*	若手研究(B)	公共事業における合意形成過程の社会心理学的分析:マイクロ-マクロ公正の役割
2008年度	増地あゆみ	若手研究(B)	組織のリスク管理における情動体験共有の効果に関する実験的研究
	浅村亮彦	萌芽研究	バーチャルリアリティによる疑似体験が空間学習に及ぼす影響の解明
	佐藤 淳	基盤研究(C)	大学生の個別的課題解決傾向からの脱却を目指して
	菅原浩信	基盤研究(C)	商店街組織における複合的なソーシャル・キャピタルの形成と果たすべき役割
2009年度	赤石篤紀	若手研究(B)	株式公開後のベンチャー・新興企業の財務構造とガバナンス構造の変化に関する実証研究
	佐藤大輔	若手研究(B)	日本企業におけるトップ・マネジメントのメンバー特性に関する静的・動的実証研究
	菅原浩信	基盤研究(B)研究分担者	戦略的協働の実現と波及のダイナミズムー知識ネットワークーパスベクティブー
2010年度	森永泰史	基盤研究(B)研究分担者	デザイナーの構想力を生かしたビジネスデスバレー克服方法研究
	菅原秀幸	基盤研究(C)	発展途上国における企業利益と社会利益の同時実現型ビジネスの可能性と課題の実証分析
	五十嵐祐	若手研究(B)	インターネット上の「情報爆発」がもたらす孤立と孤独の生起メカニズムの解明
	増地あゆみ	若手研究(B)	リスク情報の感情価と共有方法の違いが組織のリスク判断に及ぼす影響に関する実験研究
2011年度	関 哲人	基盤研究(B)研究分担者	発展途上国における企業利益と社会利益の同時実現型ビジネスの可能性と課題の実証分析
	菅原浩信	基盤研究(C)	商店街組織による地域コミュニティの活性化
	内藤 永	基盤研究(C)	小規模事業所の海外取引に関わる実務英語の事例研究
	山中 亮	挑戦的萌芽研究	故人の絆に地域風土が及ぼす影響:地域に根ざしたグリーフカウンセリングに向けて

佐藤 大輔 教授

主な担当科目 経営管理Ⅰ,Ⅱ

テーマ 日本企業におけるトップ・マネジメントのメンバー特性に関する静態的・動態的実証研究



■背景と目的

高い組織パフォーマンスと優れたガバナンスを実現し、企業を成功に導くためにどのようなトップ・マネジメントが必要なのでしょう。

優れた意思決定をつづけて、組織に高いパフォーマンスをもたらすトップ・マネジメントがどのようなメンバーによって構成されるのか？それはどのような特徴を持っているのか？優れた企業統治を実現するトップ・マネジメントに必要なメンバー特性と関係性は？ トップ・マネジメント構成の変化に関する実態とその影響、戦略的な意思決定や最終的なパフォーマンスへの影響との関係には、非常に多様な要因が影響を及ぼしているため、多角的・重層的な視点が必要になります。

■特色

日本企業のトップ・マネジメントは、社長の権限の大きさや、専門的経営者の少なさと言う点で欧米企業とは一線を画します。また、トップ・マネジメントにおけるメンバー特性が最終的な業績などに影響を及ぼす時間は長期的ですし、経営者の継続や交代にかかわる動態(サクセッション)は、トップ・マネジメントによっておこなわれる意思決定や、ガバナンスに関わる行動に重大な影響を及ぼすと考えられます。しかし、既存研究の多くは、欧米企業を対象としたものであり、こうした時間的な経過を考慮していません。

本研究は日本企業を対象とし、さらに時間的経過を踏まえた分析を行います。

■意義

上記の点で、日本企業のトップ・マネジメントにおいて、新たな視点を提供することになるでしょう。トップ・マネジメントと戦略的な意思決定やパフォーマンス等との関係性についての綿密な実証研究は、特に国内では乏しいため、本研究の学術的意義は高いと言えます。

他方、近年コンプライアンス等のようなガバナンスの視点からトップ・マネジメントが議論の対象となることが多いです。しかしながら、この視点から客観的なデータにもとづく考察がおこなわれた調査・研究は少なく、実際のマネジメントにおいてどのようなトップ・マネジメントであれば優れたガバナンスを実現できるのかという議論はこれまで十分におこなわれてきたとは言えません。この意味で、本研究における取り組みは、きわめて実践的意義の高いものと言えます。



▲豊富な海外研究のレビューに基づいた、独自の研究を立案しております。

増地 あゆみ 教授

主な担当科目 組織心理学Ⅰ,Ⅱ

テーマ リスク情報の感情価と共有方法の違いが組織のリスク判断に及ぼす影響に関する実験研究



■背景

多くの企業や医療組織では、事故を未然に防ぐ取り組みとしての「リスク管理」や「安全活動」が行われていますが、近年鉄道事故や医療事故など労働現場での事故は後を絶ち

ません。組織的なリスク対策は様々ありますが、設備に対して施策されるものの一つに、フェイルセーフの仕組みがあります。フェイルセーフは、人間のエラーや機械の故障が生じても事故に至らない仕組みであり、たとえば、鉄道のATS(自動停止装置)などがあります。

しかし、このような事故防止システムを導入するか否かを判断するのは組織なのです。このため、効果的なシステムが開発されていても、組織が導入しなかったり、導入が遅れたりすることで、結果的に大事故につながった事例もあります。

■目的

本研究では、組織のリスク判断における感情の役割を明らかにし、組織の適切なリスク管理のあり方を提案します。リスク低減策に対する組織の判断を、より安全重視の方向へ導く要因として、「リスク情報に対する感情反応(感情価)」と組織における「情報の共有方法」に着目し、これら2要因が組織のリスク判断に及ぼす影響を明らかにすることを目的とします。

■研究の手順

第1段階では企業の事例調査を行います。

第2段階では、第1段階で得られた事故情報の感情価(感情の種類と強さ)を測定します。事故の状況は『文字のみの文書』、『再現写真つき文書』、『再現VTR』の3通りに表現し、受け手の感情反応を客観的(生理的)指標、主観的指標を用いて測定します。この結果に基づき、事故事例をそれらもたらす感情価(感情の種類と強さ)によって分類します。

第3段階では、組織のリスク判断に関する実験研究を行います。実験では、第2段階で分類した事故事例に基づき、その防止対策となるシステムの導入についての意思決定を集団で行う状況を設定します。このとき、事故事例の感情価と集団が情報を共有する方法を実験条件として操作し、これらが集団のリスク判断に及ぼす影響を明らかにします。

この結果を第1段階の調査で得られた組織の実際の判断プロセスと比較し、組織の判断ではどの程度感情的な評価が反映されていたかを分析します。

■意義

本研究は組織のリスク判断における感情の役割を明らかにすることで、組織のリスク管理に、より効果的な働きかけをすることが可能になります。また、事故の再現写真に加え、再現VTRを作成することで、リスクイメージの鮮明さとリスク判断の関係をより明確に調べることができます。リスク情報の感情価を生理的および心理的指標により測定することで、リスクに対する判断と感情的評価の関係を客観的に調べることができます。



映像を用いた実験風景。▶事故体験については映像だとより印象に残るはず。

五十嵐 祐 准教授

主な担当科目 社会心理学Ⅰ,Ⅱ

テーマ インターネット上の「情報曝露」がもたらす孤立と孤独の生起メカニズムの解明



■目的

本研究では、近年、社会的に関心を集めている若年層の対人関係能力の低下や、孤独感の高まりの原因のひとつとして、高度情報化社会における情報量の爆発的な増大(情報

の過負荷)に注目しています。情報の過負荷は人々の自己制御資源を枯渇させ、自己焦点型の情報処理を促すことが知られています。本研究は、(1)情報の過負荷によって人々が相手の意図や感情の推論に失敗し、不適切な対人反応を引き起こして周囲から孤立する過程、(2) 孤独な人が情報の過負荷によって自己焦点型の認知バイアスを促進させ、ますます孤独感を高めていく過程、の2点を検討し、情報の過負荷がもたらす推論の誤りや認知バイアスを低減できるような対処方略を提案することを目指しています。

■研究計画・方法

2010年度 孤独な人が自己焦点型の情報処理を行っているかどうかについて、大学生を対象に、現在と将来の報酬選択に関する遅延割引課題を用いて孤独感との関連について検討を行いました。

2011年度 情報の過負荷を引き起こすようなWebサイトの構造について理解するため、日本国内の主要140サイトのデザインをHTMLタグの解析を通じて分析しました。

2012年度 孤独感の高い人の情報の取捨選択に関する方略、および、情報の過負荷に対する対処方略について、Web調査を実施し、情報リテラシーとの関連から検討する予定です。

■現在までの成果

これまでの研究からは、孤独感が高いほど、不確実性の高い将来の高い報酬よりも、現在の少ない報酬を選択する傾向がみられました。このことから、孤独な人は、将来への投資といった観点よりも自己の短期的な利益に焦点を当てた報酬の選択を行い、周囲の情報に対する注意を向けず、結果として孤独感を高めるような行動を行ってしまう可能性が示されました。

また、Webサイトの構造分析からは、その特徴が3つの成分に要約されました。第一の成分は文字数、画像数、リンク数といったサイトの内容や性質を示す基本情報、すなわち「大きさ」を表す成分、第二、第三の成分は画像・JavaScript数、Flash数に対応しており、これらはサイトの視覚的な特性やインタラクティブ性、すなわち「形式」を表す成分として解釈可能でした。すなわち、情報の過負荷が生まれる要因の分析には、大きさ、形式というWebサイトの特徴から解釈することが重要であるといえます。なお、これらの研究結果の詳細は、経営論集に報告されています。



▲インターネット社会で起きていることは？人々のコミュニケーションはどうなるのでしょうか？

近年、大学教育には、学生のキャリア形成を支援するための教育も求められるようになってきました。経営学部では、「企業研修」というインターンシップ制度によって、そのような社会的要請に答えています。

「企業研修」とは、大学在学中の学生が実際の企業・団体等において実習・研修的な就業体験を通して、現実の企業社会で求められる人材像を実体験として認識し、それを大学教育と結びつけることによって、より一層の教育効果をあげることを目的とした経営学部独自のインターンシップ制度です。

就職活動へのモチベーション

五十嵐文歌



出身高校：滝川西
所属ゼミ：大平ゼミ

- 研修先：キャリアバンク
- 内定先：職業紹介・人材派遣企業

企業研修での経験は、さまざまな職種、業界の現実の話を実験に実際に聞いたことが就職活動に役立ちました。そして、現在、某企業の営業職として内々定を頂くことができました。また、企業研修では、実地研修において、社員の方の前でプレゼンテーションをする機会を多く頂くこともあり、人前で自分の意見を話すことに対する度胸がついたことも就職活動に大いに役立ったことだと思います。

後輩の皆さんへ、企業研修では、アルバイトでは学べないことがたくさんあります。また、企業研修を経験したことで就職活動へのモチベーションを向上することもできます。私は、全力で就職活動に取り組む無事第一志望の企業に内定を頂くことができました。

アルバイトと正社員の違い

吉田 拓哉



出身高校：札幌北陵
所属ゼミ：大平ゼミ

- 研修先：きのとや
- 内定先：食品製造企業

私は企業研修を通じて未来の自分をよりイメージ出来るようになりました。普段行っているアルバイトとは異なる立場で、より実際に働く正社員の方々に近い仕事を体験させて頂くことで社会人として働くことをよりはっきりとイメージ出来るようになりました。

アルバイトは言われた仕事をしっかりとこなすことが仕事という側面が強いと思いますが、正社員として働くということは、企業の発展や地域発展への寄与など多くのことに取り組むものなのだ実際に働くことで私は感じました。自分がこれから社会に出たときにどのようなことをしたいのか、そして、どのような大人になりたいのかを改めて考えることができたことが、充実した学生生活と就職活動に繋がったのだと思います。

出会いと経験

松川 香純



出身高校：札幌新川
所属ゼミ：大平ゼミ

- 研修先：プリプレスセンター
- 内定先：ホテル

企業研修を履修しようか迷っている人は、きっと「1人で行くのが不安」「発表とかできないよ」と思っているのではないのでしょうか。私も最初はそうでした。しかし、いざ蓋を開けてみると、厳しくも優しく指導してくれる先生方、アドバイスをくれるサポート学生のみなさん、一緒に成長していける仲間がいるなど、企業研修は孤独なものではありません。むしろ、普段接することのない人々との出会いを通じて、自分の視野を広げる良い機会となりました。

企業研修は1日2日で出来るようなものではないため、正直大変です。しかし、経験してみなければわからない、楽しさや達成感があり、得るものはたくさんあります。迷っているのであれば、ぜひ参加してみてくださいはいかがでしょう。

社会人としての心構え

西岡 愛美



出身高校：市立函館
所属ゼミ：佐藤(淳)ゼミ

- 研修先：石屋製菓
- 内定先：流通小売企業

企業研修を履修されていた同じサークルの先輩のお話を伺ったことが、私が企業研修を履修しようと思ったきっかけでした。実際に先輩の報告会を聴講し、その経験はもちろん、先輩方の報告のまとめ方がとてもわかりやすかったことから「自分も先輩方のような経験をしたり、プレゼンができるようになるたい」と感じ履修を決意しました。

実習での経験を通して「社会人としての心構え」を学べたと思います。社員の皆様の仕事に対する姿勢を間近で感じながら接客業についてさまざまなことを教えて頂き、本当に貴重な経験をさせて頂きました。また、実習をするにあたってのレポート作成や報告会の準備、そして報告など一連の流れを行い「自分の学んだことを人にわかりやすく伝える大切さ」を学ぶことができたと思います。

意識の変化

道念 大貴



出身高校：札幌西陵
所属ゼミ：春日ゼミ

- 研修先：丸水札幌中央水産
- 内定先：食品卸売企業

企業研修を通して、受け身では何も生まれないと意識を強く感じ、能動的に行動することの大切さを学びました。

研修初日、私はただ仕事や職場の説明を聞くだけで、研修を終えてしまいました。このとき、このままでは説明を聞くだけの研修になってしまうと思い、次の日からは自分なりに質問を用意し、社員の方と積極的にコミュニケーションをとることを心がけました。その結果、徐々に仕事を頼まれるようになり、非常に充実した研修を行うことができました。

研修を通じて学ぶことができた「能動的に行動する」という意識は、就職活動においても役に立ちました。約1年という長い期間の授業で、辛いこともたくさんありましたが、その分、学ぶことは非常に多く、今では履修してよかったと心から感じています。

プレゼンテーション能力の向上

西山さおり



出身高校：旭川南
所属ゼミ：田村ゼミ

- 研修先：グランビスタホテル&リゾート(札幌パークH)
- 内定先：生活協同組合

私が企業研修を履修しようと思ったきっかけは、2つあります。

1つ目は、『大学生生活中に就業体験をしてみたいと思ったこと』です。

2つ目は、『就職活動を迎えるに際して、企業研究の仕方を学びたいと思ったこと』です。そして、企業研修の経験によって、一番成長できたと感じる部分は、『プレゼンテーション能力』を向上させることができたという点です。

企業研修は、就業体験後に、経営学部の先生や研修先の方、後輩たちの前でプレゼンテーションを行います。このような経験は、就職活動でも緊張することなく自分の意見を堂々と話すということに繋がったと思います。



自分の意識改革

竹 郁哉



出身高校：旭川西
所属ゼミ：庄司ゼミ

- 研修先：毎日新聞社 北海道支社
- 内定先：ドラッグストア

私は企業研修の経験の全てが就職活動に役に立ったと強く感じます。実地研修はもちろん、事前レポートの執筆からマナー研修や報告会など、どれも就職活動で生きる体験であったと思います。その中でも、私は実施研修を通して「自分の意識改革」ができたことが大変良かったと感じています。

実地研修では、学生である私が実際に仕事をさせて頂くことになるため、自分の未熟さを痛感することもありました。しかし、立派な社会人の姿や考え方、言動を身近に見たり、聞いたり、感じたりすることができます。この体験が自分の就職活動のモチベーションになり、未熟さの克服や、自分が興味をもった業界を研究するなど、就職活動に対する自分の意識を変えることができたと感じます。

自己分析

金子 春香



出身高校：札幌啓成
所属ゼミ：高木ゼミ

- 研修先：苫小牧埠頭
- 内定先：リース・レンタル企業

苫小牧埠頭株式会社で研修を行わせて頂きました。物流という仕事を直接見る機会を得られたことは、私にとって本当に価値のあることでした。研修で新しいことを知る度に、物流という仕事に対して興味を深めていき、自分の進路として考えるきっかけとなりました。

企業研修の経験は、その後始まる就職活動で非常に役に立ちます。自分が社会に出て何をやりたいか、それはどうしてかなど、「自己分析」をする必要がありますが、企業研修の経験がその裏付けとなりました。他では得る事ができないこの貴重な機会を、「何か経験をしよう」というだけでなく、「自己分析をしよう」という意識を持って臨んで、その後に活かして欲しいと思います。

企業研修スケジュール

学年	時期	企業研修スケジュール
2年生	選考期間	12月初旬 企業研修説明会
		12月下旬 応募書類の提出
		1月中旬 書類選考 書類選考結果と面接日程の発表
		2月初旬 面接
3年生	事前学習期間	2月中旬 3月下旬 選考結果の発表 業界および企業に関する資料収集 履修登録
		4月初旬 企業研修ガイダンス
		4月中旬 業界研究の方法についての学習 業界研究レポートの作成
		5月中旬 企業研究の方法についての学習
		6月初旬 ビジネス・マナー講座(基礎編) 企業研究レポートの作成
		6月中旬 ビジネス・マナー講座(応用編)
		6月下旬 研修先への事前挨拶
		7月初旬 結団式 事前研究(業界研究・企業研修)レポートの提出
	体験学習期間	8月初旬 9月中旬 研修先企業における研修(約2週間)
		事後学習期間
	10月中旬 企業研修報告会	
	10月中旬 修了式	
4年生	就職活動	



■ 実地研修先企業・団体(2012年度) ■

[50音順]

アイ・ティ・エス株式会社	株式会社 ニトリパブリック
株式会社 アイワード	株式会社 ハダシ
株式会社 アレフ	パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社北海道社
石屋製菓株式会社	富士通エフ・オー・エム株式会社 東日本営業本部 北海道支店
恵庭リサーチ・ビジネスパーク株式会社	ホームック株式会社
加森観光株式会社	株式会社 北海道銀行
株式会社 きのとや	社会福祉法人 北海道光生舎
キャリアバンク株式会社	北海道中小企業同友会産学官連携研究会(HoPE)会員企業
株式会社 グランビスタ ホテル&リゾート(札幌パークホテル)	北海道オフィスマシン株式会社
株式会社 恵和ビジネス	株式会社 毎日新聞社 北海道支社
資格の学校TAC株式会社 札幌校	丸水 札幌中央水産株式会社
株式会社 ツルハ	丸善株式会社 札幌支店
苫小牧埠頭株式会社	村越税理士事務所
株式会社 ニトリ	株式会社 モロオ

2013年度の企業研修説明会は、12月初旬を予定しています。

就活Labo

～就職活動スケジュール～

今回の就活Laboでは、2012年3月に卒業した学生に、就職活動について振り返ってもらい、実際にどのような流れで就職活動が進んでいくのかを、教えてもらいました。また、それぞれの活動の中でのワンポイント・アドバイスも聞いています。

これから先、就職活動を行う予定の人(特に3年生)は、参考にしてみてください。

ONE POINT ADVICE

インターンシップ

SPIの勉強

自己分析

就職情報サイトオープン

業界セミナー・合同企

企業

プレエントリー・Web

エントリー

筆記

2年生の段階から方向性を模索していないなら、ここは視野を広げる段階。先入観にとらわれず、色々な企業を見てみよう。

各種のセミナー開催

就職情報各社主催の合同説明会 (@札幌ドーム)

年末年始の帰省時に就職の方向性を親子で話し合いたい。親の安定志向を押し付けるのではなく、視野を広げる方向でアドバイスしたいところ。

エントリーシートで落ちるとがっかり。恥ずかしがらず第三者の目でチェックしてもらい、早目に立て直したい。Ex) 親、先生、友人

8月から…準備活動

■インターンシップ

8月頃から、様々な業種でインターンシップが始まります。

大学が授業の一環で行っている企業研修もありますが、マイナビやリクナビなどの就職活動支援サイトを調べると、各企業独自で行っているインターンシップもあることがわかります。インターンシップには、数ヶ月単位の長期で実際に就労するものから、業界や会社概要の説明を主にした1DAY～数日のものまで、様々な形態があります。

私は、この時期には志望業界を決めていませんでしたが、金融業界に関心があったので、銀行や証券会社といった金融関連の会社を中心に5社の1DAYインターンシップに参加しました。金融関連会社の1DAYインターンシップでは、金融商品や保険に関して学ぶ形式が多かったです。また、そのときには、会社説明会のような形で事業や会社の沿革などを聞くことができたり、社員の方へ個別に質問できる場も設けられ、短い時間ながら深い会社研究ができる有意義なものでした。この経験は、その会社への志望動機を考えた時、面接で話をする際に武器になりました。

■就活ゼミ

この時期から就活ナビなどの就職活動サイトを通じて申し込むことができる就活ゼミが始まり、自己分析の仕方、エントリーシート(ES)の書き方、グループディスカッション(GD)や面接のコツなどを学びました。自己分析を通じて、自分がどんな仕事をしたいのか、どんな仕事に向いているのかがわかり、ここで初めて就職活動の軸をつくることができました。また、人事担当者が何を考えて、何を見ているかを知ること、内定を得る人物像がわかり、ESを書く際、GDや面接の際に大いに役立ちました。なにより、このようなゼミに参加している学生は、就職活動が本格化する前から活動に熱心に取り組んでおり、刺激をもらうことも多かったです。

■SPI(適性検査)の勉強

夏休みの時間を利用し、SPIの勉強にも取り組みました。就職活動が本格化すると、ESや面接に追われ、SPIの勉強をしている時間がなくなります。ESの内容が良くても、SPIの成績が低ければ、そこで落とされる場合も多くあります。そのため早い段階で、しっかりと勉強しておく必要があります。Web上でSPIを勉強できるサイトもあるので、こういったものを活用するといいでしょ。

1月から…就職活動の本格化

■エントリーシート(ES)の作成・提出

ESは採用試験の最初の段階で行われる選考であり、ESが通過しないとその後の選考(GDや面接)に進むことができません。1月ごろからESの配信や提出が始まり、月が進むにつれて、提出企業数が徐々に増えていきます。ESによる選考は採用試験の開始が早い大手企業が採用していることが多く、2月・3月ごろに提出のピークを迎えました。提出方法は企業によって様々ですが、大きく分けてパソコンでの文章入力によるWeb提出と、手書きによる郵送の2つに分けられます。

企業に大量に送られるESの中から、自分のものを見てもらうため、そして、伝えたいことを相手に理解してもらうためにも、書き方に様々な工夫をすることも必要になります。

ESで多く見られる項目として、自己PRや志望動機、学生時代の体験談(力を入れたこと・成功談・失敗談など)、入社後挑戦したい仕事などがありました。これらの項目にしっかりと答えるためにも、早い段階での自己分析と業界研究・企業研究が大切になります。

■合同説明会への参加

札幌では2月に札幌ドームで大きな合同説明会(合説)が開催され、ここから北海道企業の採用活動(これらの企業に対する就職活動)が本格化してきます。合説には北海道各地から様々な企業が参加しており、その中には今まで知らなかった企業もあり、多くの企業について知る良い機会となります。就職活動を始めて間もないこの段階では自分にどのような職種が合うのか、どの業界が合うのかということはまだ断定できません。ですから、視野を広げるためにも、多くの企業のブースに足を運び、説明を聞くことが大切だと思います。

また、説明会は私たちが企業について知る場であるとともに、企業の方が私たちが知る場にもなります。企業の方は私たちの行動や姿勢をよくみており、そしてよく覚えていきます。そのため、説明の聞き方や身だしなみ、立ち居振る舞いにも注意が必要になっていきます。

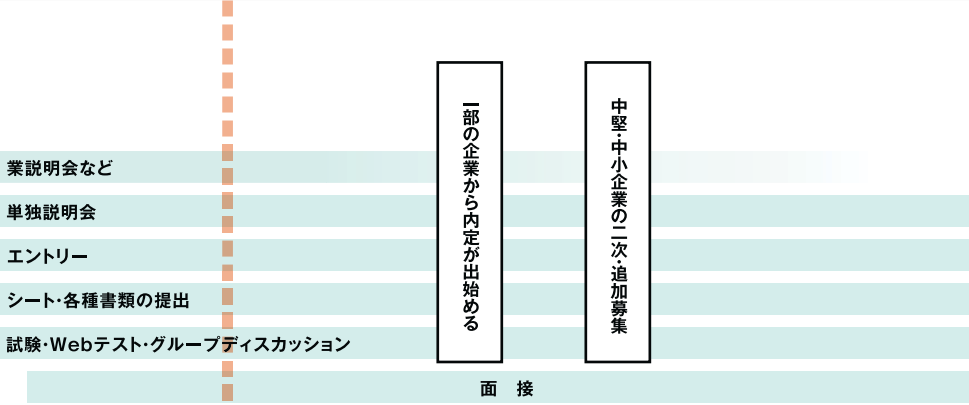
就職活動中、様々な会場で多くの企業説明会が開催されますし、大学の校舎内でもキャリア支援センター主催の説明会が開催されます。初めのうちは就職活動に慣れるためにも、また、多くの企業について知り、企業の方のお話を直接伺い、社会人として働くことを真剣に考えるためにも、多くの説明会に参加してほしいと思います。



ONE POINT ADVICE

わかりやすく・伝わりやすく
なるように工夫を!

- 例えば、
- タイトルをつける
 - 文字の大きさの太さを変える・線を引く
 - 結論を一番はじめにもってくる
 - 具体的な数値や体験談を載せる などの工夫をする。
- そして、面接で伝えたいこと・聞いてほしいことにつながる内容を書く。



道内主要企業の選考(面接)の本格化

タマ切れに注意!

1社から内々定が出ても
浮かれないように引き締めを。
未内定の場合、企業選びに無理がなかったかどうかなどを
振り返りつつ、採用を続けている企業を
丹念に探したい。

なかなか選考が進まないなら、
こまめに大人にアドバイスをもらうこと。
動き続けること。
踏ん張りどころでもある。

面接で一度でも
次に進めると、
自信に。

中堅・中小企業の
追加募集を探したり、
大学の就職部などに相談し、
巻き返しを図る

■単独説明会

年が明けてからは、合説だけでなく、単独説明会を実施する企業が増え、一日に2社の説明を聞く日もできます。常に手帳を持ち歩き、スケジュール管理をしっかりとすることが、基本のことですがとても大切になります。

単独説明会では、合同説明会では聞くことのできない、より深い企業の情報を知ることができます。そのため、あらかじめ企業のHPや就活サイトで下調べをしておく他の人よりも一歩進んだ、有意義な時間を過ごすことができます。疑問に思ったことや説明会で聞けなかったことは、質問時間や説明会終了後に積極的に質問をしましょう。人事の方に顔を覚えてもらうチャンスでもあります。



👉 ONE POINT ADVICE

たくさんの人の話を聞こう

人事担当者や先輩社員と話すことで、自分の興味の幅が広がり自分のやりたい事や将来をイメージするためのヒントを得ることができます。自分の知らないことにも目を向けて、あまり固く考えずに色々な人と話すことで、自分自身の視野を広げていきましょう。

幅広い業種・職種に目を向けよう

志望度が低い業種でも、職種によっては自分に合った仕事を見つけられる場合もあります。

3月・4月から…選考の本格化

■グループディスカッション

面接の前に、グループディスカッション(GD)を実施する企業も増えてきました。議論をするテーマは企業によって様々ですが、難しいテーマを設ける企業は少ないようです。GDで大切なことは、「なにを発言するのかではなく、どう発言するのか」です。声の大きさや目を見た発言など、あげたらきりがありませんが、担当者は参加態度をみていると意識して、積極的にディスカッションに参加しましょう。



👉 ONE POINT ADVICE

目をしっかりと見て、適宜、相づちをうつ!

聞いている姿勢や真剣な姿が好印象を残し、次に会ったときに覚えてくれていたということも良かったです。

重要なポイントはメモをとる!

家に帰ってから読み直すこともでき、相手に聞いている姿勢を示すことができるので、メモをとることをオススメします。ただし、メモをとることに集中し、常に下を向いていることのないように要注意!

執筆者紹介(執筆順)

大嶋麻里衣

【執筆箇所】
インターンシップ、就活ゼミ、SPIの勉強
■勤務先: 証券会社
■出身高校: 札幌東商業
■所属ゼミ: 赤石ゼミ



新谷 遥香

【執筆箇所】
ESの作成・提出、合同説明会
■勤務先: 不動産会社
■出身高校: 札幌東
■所属ゼミ: 赤石ゼミ



黒田 朋子

【執筆箇所】
説明会、面接
■勤務先: 通信会社
■出身高校: 札幌北陵
■所属ゼミ: 福永ゼミ



伊豆倉睦美

【執筆箇所】
単独説明会、GD、面接
■勤務先: 住宅メーカー
■出身高校: 札幌第一
■所属ゼミ: 赤石ゼミ



■面接

ESやGDを通過すると、とうとう面接です。企業によって様々ですが、平均で3~4回行う企業が多いようです。面接は集団面接と個人面接の2種類があります。2つに大きな違いはないですが、集団面接では他の学生が発言している時間も面接担当者にもみられていると意識し、発言者に目を向けたら、軽く相槌を打つという行為も大切です。

確実に聞かれる質問は、「志望動機」と「自己PR」と「学生時代に頑張ったこと」です。事前に履歴書等に目を通し、どのようなことを話すのかを確認しておきましょう。ただしその際、履歴書の丸暗記はNGです。言いたいことを確認するだけにして、あとは自分の言葉で伝えるということを大切にしてください。

よく面接は入室からの10秒で決まるといいます。いくらいいことを言っても、髪がぼさぼさ、スーツがよれよれでは意味がありません。面接前には必ず身なりを確認して臨みましょう。姿勢も正しましょう。第一印象って、本当に大事です。

あとは面接担当者に自分の気持ちをぶつけるだけです。自分を偽るのではなく、ありのままの自分を出していきましょう。面接ではキレイに話をするこぼばかりに気を取られがちなのですが、緊張した面接の場面でこそ、自分の言葉でありのまま自分を表現することが大切だと思います。

👉 ONE POINT ADVICE

よき就活仲間を作ろう

就職活動を終えた学生がよく言うのは、就活はひとりではできなかったということです。色々な人と情報や意見を交換することで、自分の知らないことや足りないところを知ることができました。また、お互いに刺激を合い、お互いを高めたいという話もよく聞きます。

就職内定率

経営学部の就職内定率は、1部84.40%、2部72.73% (2012年5月1日付:前年度1部85.57%、2部83.39%)。比較対象となる北海学園大学全体で1部81.38%、2部72.73% (前年度1部82.46%、2部73.06%)、また厚生労働省の「大学など卒業者の就職状況調査」では93.6%となっています (同年4月1日付) *1。

一般に言われる「内定率」の算出方法

内定率とは、「就職決定者数÷就職希望者数」で計算されます。この数値は、就職希望者のうち、どれだけの方が就職したか(内定を得たか)を示す割合で、一般に進学や留学、ノートやフリーター、公務員浪人となる人の数が分母から除外されます。

内定率をみる際には、どの時点での就職希望者をもって内定率を算出するかによって、算出される就職率が変わってくる点に注意が必要です。例えば、卒業段階での内定率を計算する場合、「当初就職活動をしていたものの、途中で挫折し、就職をあきらめた学生」が母数から除外される可能性があります。また、複数の企業から内定をもらったケースを単純合計したり、臨時採用や契約社員などの非正規雇用も含めて就職決定者とし、内定率を増しする場合もあるといわれています。

北海学園大学の「内定率」の算出

北海学園大学では、内定率の算出を、以下の式で計算しています。

北海学園大学の内定率 = (正社員としての就職決定者数 ÷ 3年生12月時点での就職希望者数 (キャリア支援センターへの登録者))

そのため、一般に比べ、数値が低くなる傾向があります。数値が低くても、(就職の意図がさほど大きくなくとも)とありえず就職希望の届けを出した学生も就職希望者として扱うので、内定率を算定する際の母数となる就職希望者数が膨らむこととなります。また、分子の就職決定者については、正社員としての就職を念頭に置くため、臨時採用や契約社員などが除外されるので、内定率算出のための就職決定者数は少なく見積もられています。

こうした属性があることを踏まえ、本学の内定率を捉えてもらう必要はありますが、多くの学生が正社員での就職を希望していること、そして多くの学生が卒業後、就職していくことを念頭に置けば、本学の内定率算定の方法はより実態を表すものといえるでしょう(数字だけをとって、他と表面的に比較した場合に、マイナスの印象を与えてしまう点は否めませんが…)。

*1 調査対象校112校(国立大21校、公立大3校、私大38校、短大20校、高等10校、専修学校20校)から、調査対象人数6,250人を抽出したのうち、電話・面接などの方法により、就職希望の有無、就職状況などにつき調査。この調査には、「就職に有利な国立大学の比率を高くし」、「就職希望者数を抑える」ことによる、数字と上の率を上げているとの批判もある(海老原嗣夫,2012,就職に強い大学・学部,朝日新書)。

*2 進学者や公務員浪人となる者は、卒業時点での内定率算定の際に除外される。

2009・2010・2011年度卒業生内定先一覧(1部および2部)

民間 公務

Table with 2 columns: Industry/Category and Company/Institution. Rows include Agriculture, Construction, Food, Chemicals, Textiles, Electronics, IT, etc.

*Webサイト記載の事業内容、業務内容をもとに、日本標準産業分類を参考に分類 ※50音順

vol.20 PASSAGES Next Issue 2013年2月発行予定

ゼミなび 【文献輪講・講読図書紹介(後編)】 赤石ゼミ/石井(耕)ゼミ/今村ゼミ/大平ゼミ/大場ゼミ/下村ゼミ 庄司ゼミ/増地ゼミ

就活Labo 2012年度就活データ 他